

4-296-546-02(1)

エレクトレットコンデンサーマイクロホン

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。

警告
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のために注意事項を守る。
 - 故障したら使わない。
 - 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。
- また、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

警告表示の意味	
この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。	注意を促す記号
警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。	
注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	行為を禁止する記号

警告 	
内部に水や異物を落とさない 水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機を取り外し、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。	
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない 火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。	

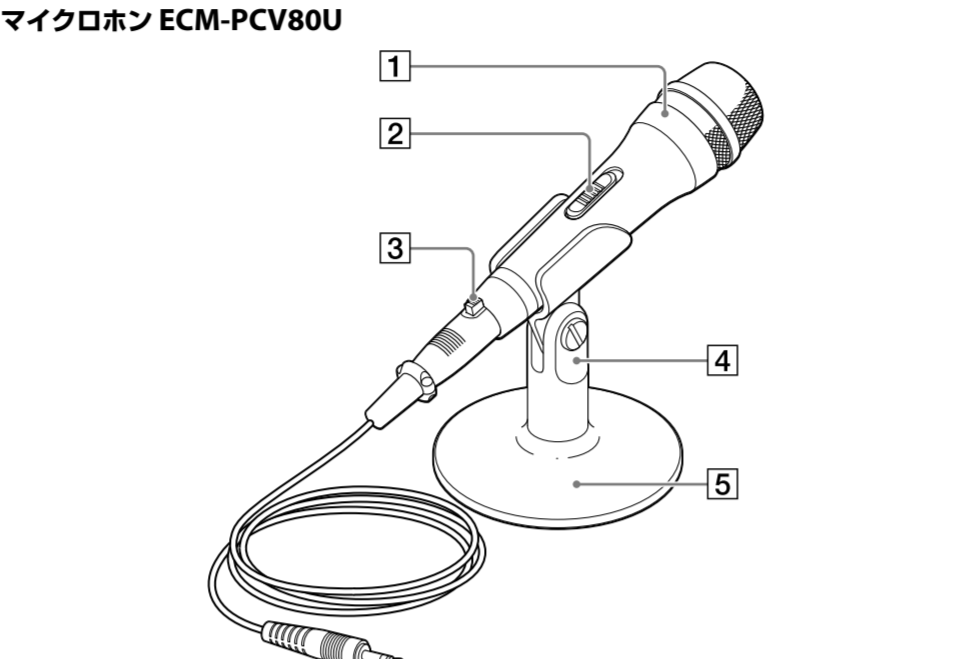
注意	
内部を開けない 感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。	
安定した場所に置く ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。	

ご注意

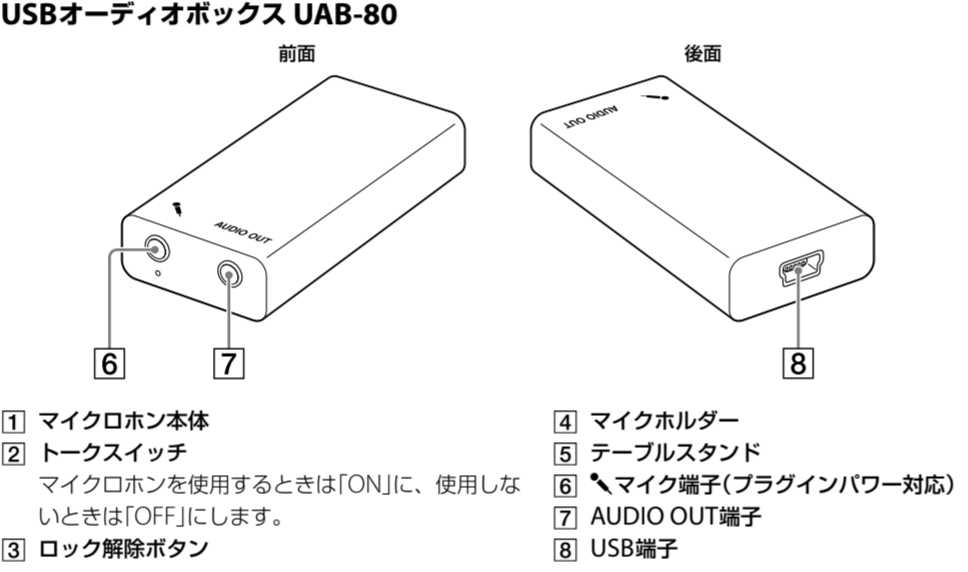
マイクロホン(ECM-PCV80U)は、プラグインパワー方式専用です。必ず、パソコンなどのプラグインパワー方式対応マイク端子につないでお使いください。プラグインパワー方式対応マイク端子以外につなぐと、故障の原因となる場合があります。

主な特長
<ul style="list-style-type: none">高音質パソコン用ボークルマイク 動画投稿用の音声収録やPCカラオケなどにお勧め <p>(本マイクはエレクトレットコンデンサー方式を採用しており、一般のダイナミック方式ボークルマイクより感度が高く、パソコンでの使い勝手が良く高音質の音声を楽しめます。)</p> パソコンノイズの影響を受けにくく、クリアできれいな音質を実現するUSBによるデジタル伝送 楽器演奏などの収録に便利なマイクホルダー、テーブルスタンド付属

各部のなまえ

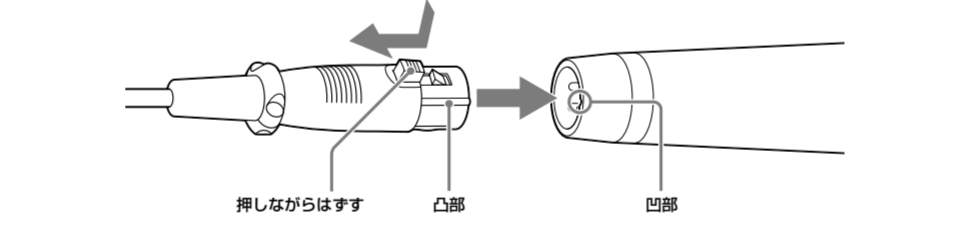


* 出力音声はモノラルです。

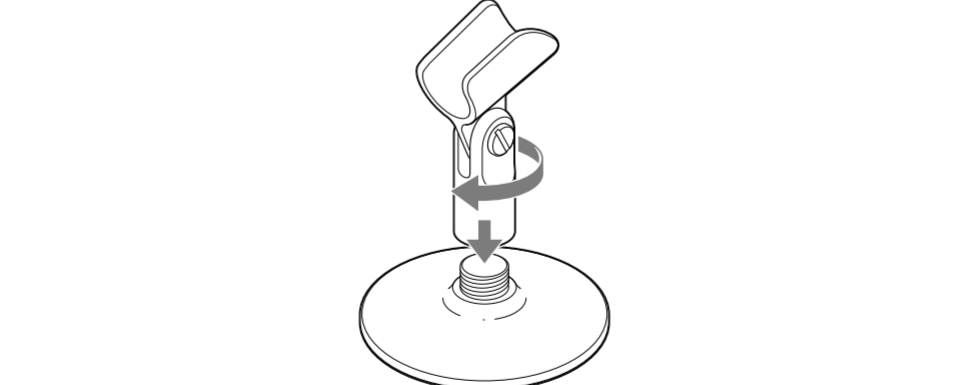


マイクコードのはずしかた/取り付けかた

- コネクターに付いているロック解除ボタンを押しながら、手前に引いてはずします。
- マイクロホン本体の出力端子側にある凹部とコネクター側の凸部とを合わせて、カチッと音がするまで押し込んで取り付けます。



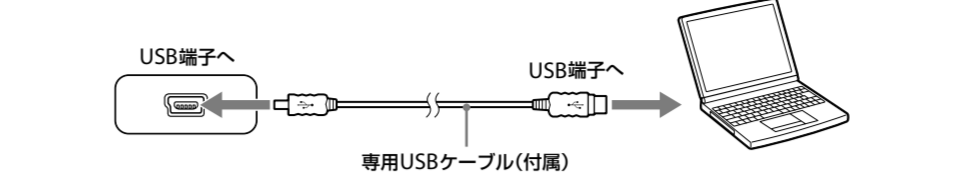
マイクスタンドの組み立てかた



- マイクホルダーをテーブルスタンド中央のネジ部分に取り付けます。マイクホルダーとテーブルスタンドの間に隙間ができないよう、しっかりとねじ込んでください。
- マイクロホンをマイクホルダーに取り付け、お好みの角度に調節します。

準備:USBオーディオボックスを接続する

パソコンとUSBオーディオボックスUAB-80を、付属の専用USBケーブルで接続します。



お使いのパソコンのOSが、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、およびMacintoshの場合、USBドライバーはOSに含まれています。USBオーディオボックスUAB-80をパソコンのUSB端子に初めて接続したときに、USBドライバーが自動的にインストールされます。

ご注意

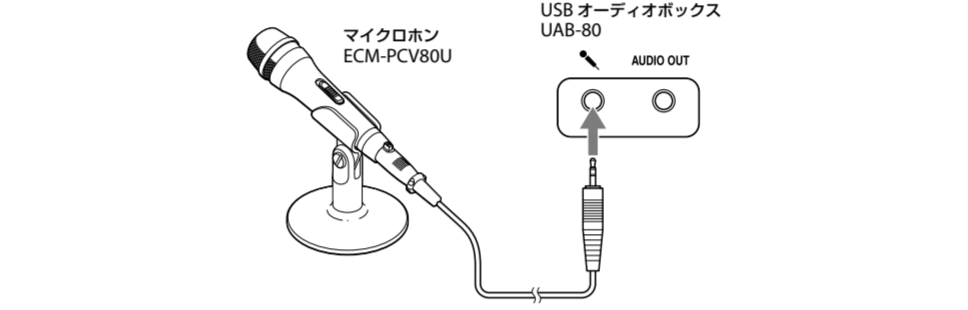
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属の専用USBケーブルを使って接続してください。
- 本機をパソコンに接続した場合、パソコン側の音量が最大になる場合があります。ご使用前にパソコン側の音量を下げてください。
- 同じパソコンの別のUSB端子に本機を初めてつなぐ場合には、USBドライバーのインストールが再度必要になることがあります。
- お使いのパソコンの状態によっては、再起動が必要になることがあります。パソコンの指示にしたがって再起動してからお使いください。

--

マイクロホンの使いかた

マイクロホンの音をパソコンで録音する

WindowsのサウンドレコーダーやMac OSのQuickTime Playerを使って、マイクロホンの音声を録音することができます。



- マイクロホンをオーディオボックスUAB-80につなぐ。
- マイクロホンのトークスイッチを「ON」にする。
- パソコンの**オーディオ設定を確認して、音量を調節する**。

パソコンでマイクロホンの音声を録音する場合、あらかじめパソコンのオーディオ環境の設定が必要になります。

Windows XP

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブを選び、「録音」の「規定デバイス」で「UAB-80」を選び、右下の「適用」ボタンをクリックする。
- 「録音」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「録音コントロール」ウィンドウで「マイクボリューム」の「選択」にチェックを入れる。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」から「アクセサリ」→「エンターテインメント」を選び、「サウンドレコーダー」をクリックする。
- 「サウンドレコーダー」ウィンドウの ボタンを押して、録音を開始する。

操作について詳しくは、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。

Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」をクリックし、「サウンド」画面の「録音」タブで表示される「録音デバイス」から「UAB-80」を選び、「規定値に設定」ボタンをクリックする。
- 「プロパティ」を開き、「レベル」タブで「マイク」の ボタンをクリックして (オフ)に切り換える。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」から「アクセサリ」を選び、「サウンドレコーダー」をクリックする。
- 「サウンドレコーダー」ウィンドウの ボタンを押して、録音を開始する。

操作について詳しくは、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。

Mac OS X

- 「アプリケーション」→「ユーティリティ」フォルダから「Audio MIDI 設定」を開く。
- 「オーディオ装置」ウィンドウに表示されているオーディオ装置のリストから「UAB-80」を選ぶ。
- 「アプリケーション」フォルダから「QuickTime Player」を開く。
- 「ファイル」メニューから「新規オーディオ収録」を選ぶ。
- 「録音」ボタンを押して、録音を開始する。

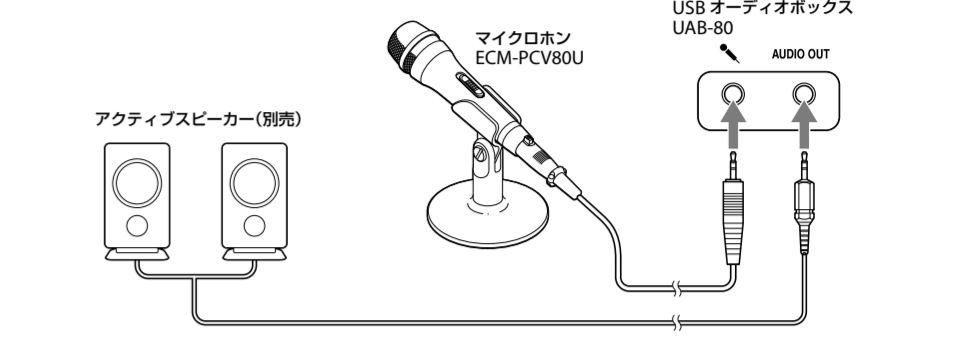
より詳しい操作方法は、下記のホームページを参照してください。 <p>http://www.sony.co.jp/av-acc/</p> また、お使いのパソコンおよびソフトウェアの取扱説明書も参照してください。

ご注意

- 録音中の音声を聞く場合、パソコン本体のスピーカーやパソコンにつないだスピーカー／ヘッドホンからは音声が出力されない、またはマイクロホンの音声より遅れることがあります。そのような場合は、UAB-80のAUDIO OUT端子に アクティブ(アンプ内蔵)スピーカー／ヘッドホン(別売)をつないでください。
- マイクロホンの音声を使って音声付きの動画ファイルを作成するには、対応したソフトウェアが必要です。詳しくはお使いのソフトウェアの取扱説明書やヘルプを参照してください。

操作について詳しくは、お使いのパソコンおよびソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マイクロホンの音をパソコンで聞く(PCカラオケなどの場合)



- マイクロホン、アクティブスピーカー／ヘッドホン(別売)をオーディオボックスUAB-80につなぐ。マイクロホンの音声は、パソコン本体のスピーカーまたはパソコンにつないだスピーカー／ヘッドホンからは遅れて聞こえる場合があります。アクティブスピーカー／ヘッドホン(別売)は、必ずUAB-80のAUDIO OUT端子につないでください。
- マイクロホンのトークスイッチを「ON」にする。
- パソコンの**オーディオ設定を確認して、音量を調節する**。

パソコンからマイクの音声を出力させたい場合、あらかじめパソコンのオーディオ機能をマイクの音声が出力される環境に設定しておく必要があります。

Windows XP

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブの「音の再生」→「規定デバイス」のプルダウンメニューから「UAB-80」を選んで「適用」をクリックする。
- 「音の再生」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「マスタ音量」ウィンドウで「マイクボリューム」*の「ミュート」チェックボックスのチェックをはずす。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。

* 「マスタ音量」ウィンドウに「マイクボリューム」が表示されない場合は、「オプション」から「プロパティ」をクリックして、「再生」が選ばれていることを確認してください。その上で「表示するコントロール」で「マイク」にチェックを入れ、「マスタ音量」ウィンドウに戻ってください。

- アクティブスピーカー／ヘッドホンの音量を調節する。

Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」をクリックし、「サウンド」画面の「再生」タブで表示される「再生デバイス」から「UAB-80」を選び、右下の「規定値に設定」ボタンをクリックする。
- 「プロパティ」を開き、「レベル」タブで「マイク」の ボタンをクリックして (オフ)に切り換える。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- アクティブスピーカー／ヘッドホンの音量を調節する。

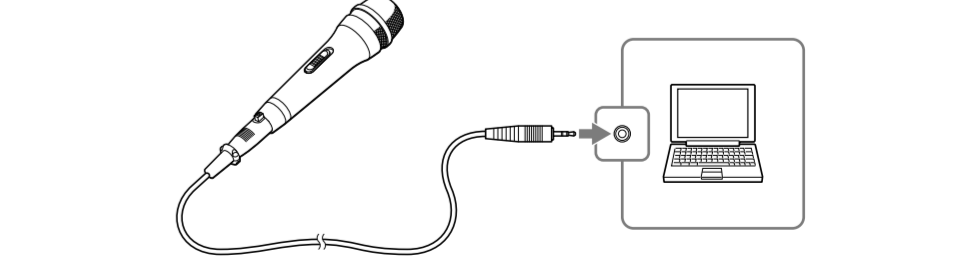
Mac OS X

- 「アプリケーション」→「ユーティリティ」フォルダから「Audio MIDI 設定」を開く。
- 「オーディオ装置」ウィンドウに表示されるリストから「UAB-80」を選ぶ。
- 「オーディオ入力」で、「Thru」にチェックを入れる。
- アクティブスピーカー／ヘッドホンの音量を調節する。

パソコンのオーディオ設定のより詳しい確認・操作方法は、下記のホームページを参照してください。
http://www.sony.co.jp/av-acc/
また、お使いのパソコンおよびソフトウェアの取扱説明書も参照してください。

マイクロホンのみで使う

パソコンにプラグインパワー方式対応のマイク端子が搭載されている場合、USBオーディオボックスを使わずに、マイクロホンのみで使うこともできます。USBオーディオボックスや他のUSBマイク、USBスピーカー、ヘッドセットなどは、あらかじめパソコンから外しておいてください。



- マイクロホンをパソコンのプラグインパワー方式対応マイク端子につなぐ。
- マイクロホンのトークスイッチを「ON」にする。
- パソコンの**オーディオ設定を確認して、音量を調節する**。

マイクロホンの音声をパソコンのスピーカー(ヘッドホン)から出力したり、パソコンでマイクロホンの音声を録音する場合、あらかじめパソコンのオーディオ環境の設定が必要になります。

<p>パソコンのスピーカー／ヘッドホンからマイクロホンの音を出す</p>
<div>Windows XP</div>

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブを選び、「音の再生」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「マスタ音量」ウィンドウで「マイクボリューム」*の「ミュート」チェックボックスのチェックをはずす。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- アクティブスピーカー／ヘッドホンの音量を調節する。

* 「マスタ音量」ウィンドウに「マイクボリューム」が表示されない場合は、「オプション」から「プロパティ」をクリックして、「再生」が選ばれていることを確認してください。その上で「表示するコントロール」で「マイク」にチェックを入れ、「マスタ音量」ウィンドウに戻ってください。

Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」をクリックし、「サウンド」画面の「再生」タブから「スピーカー」の「プロパティ」画面を開き、「レベル」タブを選ぶ。
- 「マイク」の「ミュート」チェックボックスのチェックを外す。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- アクティブスピーカー／ヘッドホンの音量を調節する。

パソコンにマイクロホンの音を録音する

Windowsのサウンドレコーダーを使って、マイクロホンの音声を録音することができます。

Windows XP

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブを選び、「録音」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「録音コントロール」ウィンドウで「マイクボリューム」の「選択」にチェックを入れる。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」から「アクセサリ」→「エンターテイメント」を選び、「サウンドレコーダー」をクリックする。
- 「サウンドレコーダー」ウィンドウの 🔴 ボタンを押して、録音を開始する。

操作について詳しくは、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。

Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」をクリックし、「サウンド」画面の「録音」タブから「マイク」の「プロパティ」画面を開き、「レベル」タブを選ぶ。
- 「マイク」の「ミュート」チェックボックスのチェックをはずす。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」から「アクセサリ」を選び、「サウンドレコーダー」をクリックする。
- 「サウンドレコーダー」ウィンドウの 🔴 ボタンを押して、録音を開始する。

操作について詳しくは、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。パソコンのオーディオ設定のより詳しい確認・操作方法は、下記のホームページを参照してください。http://www.sony.co.jp/av-acc

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも問題が解決しないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

<div>「故障かな？と思ったら」に記載されている症状以外の誤動作については、以下の手順を行うと正常に戻ることがあります。</div> <ul style="list-style-type: none">専用USBケーブルを抜き、10秒程度待ってから、再びパソコンと本機を専用USBケーブルで接続する。 専用USBケーブルを抜き、パソコンを再起動する。再起動後、パソコンと本機を専用USBケーブルで接続する。

症状	原因／処置
音が出ない。 録音ができない。	<ul style="list-style-type: none">つないだ機器がプラグインパワー方式ではない。 <ul style="list-style-type: none">→プラグインパワー方式の機器につないでお使いください。 →お使いの機器に付属の取扱説明書を参照してください。 プラグの接触不良。 <ul style="list-style-type: none">→プラグをマイク端子の奥までしっかり挿してください。 →プラグが汚れている場合は、柔らかい布で拭いてください。 マイクのトークスイッチが入っていない。 <ul style="list-style-type: none">→トークスイッチを「ON」にしてください。 パソコンの音声出力が「ミュート」になっている。 <ul style="list-style-type: none">→パソコンの音声出力設定を確認し、ミュートを解除してください。 録音用ソフトウェアの操作が正しくない。 <ul style="list-style-type: none">→お使いのソフトウェアの取扱説明書やヘルプを参照してください。 外部アクティブスピーカーの電源が入っていない。（外部アクティブスピーカーをお使いの場合） <ul style="list-style-type: none">外部アクティブスピーカーの電源を入れてください。 パソコンのオーディオデバイスが正しく設定されていない。 <ul style="list-style-type: none">→パソコンの設定をご確認ください。詳しくは「マイクロホンの使いかた」をご覧ください。 外部アクティブスピーカー／ヘッドホンの音量が小さくなっている。 <ul style="list-style-type: none">→お使いのアクティブスピーカー／ヘッドホンの音量を調節してください。
マイクの音声か歪んでいる。	<ul style="list-style-type: none">パソコンのマイク入力レベルが大きすぎる。 <ul style="list-style-type: none">→以下の手順で調節してください。（USBオーディオボックスをお使いの場合）

Windows XP

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブの「音の再生」→「規定デバイス」のプルダウンメニューから「UAB-80」を選んで「適用」をクリックする。
- 「音の再生」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「マスタ音量」ウィンドウで、「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。

Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」画面の「再生」タブを選び、「再生デバイス」の中から「UAB-80」を選ぶ。
- 「プロパティ」画面の「レベル」タブを選び、「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。

→以下の手順で調節してください。（USBオーディオボックスを使わない場合）

Windows XP

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブを選び、「音の再生」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「マスタ音量」ウィンドウで、「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。

Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」画面の「再生」タブから「スピーカー」の「プロパティ」画面を開き、「レベル」タブを選ぶ。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。

- パソコンのマイク入力のマイクブースト/AGCがONになっている。
 - 以下の手順でオフにしてください。（USBオーディオボックスをお使いの場合）
- Windows XP
- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
 - 「オーディオ」タブの「録音」→「規定デバイス」のプルダウンメニューから「UAB-80」を選んで「適用」をクリックする。
 - 「録音」の「音量」ボタンをクリックする。
 - 「マイクボリューム」の「トーン」ボタンをクリックする。
 - 「マイクの詳細設定」画面で、「AGC」を「OFF」にする。

Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
 - 「サウンド」画面の「再生」タブを選び、「再生デバイス」の中から「UAB-80」を選ぶ。
 - 「プロパティ」画面の「レベル」タブを選び、「AGC」を「OFF」にする。
- 以下の手順でオフにしてください。（USBオーディオボックスを使わない場合）

Windows XP

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブを選び、「音の再生」または「録音」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「マスタ音量」ウィンドウで「マイクボリューム」の「トーン」ボタンをクリックする。
- 「マイクボリュームの詳細設定」画面で、「マイクブースト」を「OFF」にする。

Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」タブを選び、「録音」からマイクの「プロパティ」を開く。
- 「レベル」タブで、「マイクブースト」を「OFF」にする。

パソコンの操作について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

<div>マイクロホン ECM-PCV80U</div>
形式： <div>エレクトレットコンデンサー型</div> <div>電源：プラグインパワー方式</div>
外形寸法： <div>マイクロホン本体</div> <div>約 φ43 mm ×160 mm（最大径 ×全長）</div> <div>マイクホルダー・テーブルスタンド組込時</div> <div>約 φ100 mm ×120 mm（ベース径 ×高さ）</div>
質量： <div>マイクロホン本体</div> <div>約 300g（マイクコード含む）</div> <div>マイクホルダー・テーブルスタンド組込時</div> <div>約 360g（本体・マイクコード・マイクホルダー・テーブルスタンド含む）</div>
本体出力コネクター： <div>キャノンXLR-3-12Cタイプ</div>
マイクコード： <div>単芯シールド φ4.5mm /金メッキ3種ミニプラグ（モノラル）/長さ 約 2 m</div>
<div></div>
次の各項は、当社プラグインパワー標準負荷回路を用い、JIS C5502-1991マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。
指向特性： <div>単一指向性</div>
周波数特性： <div>80 Hz～15,000 Hz</div>
正面感度（開回路電圧レベル）： <div>−40 dB ± 3.5 dB</div>
<div>USBオーディオボックス UAB-80</div>
入力・出力端子： <div>オーディオ出力（ミニジャック／ステレオ）</div> <div>マイク入力（ミニジャック／モノラル）　プラグインパワー対応</div> <div>USB端子</div>
電源： <div>USBバスパワー対応(5V 100 mA)</div>
外形寸法： <div>約 30 mm ×12 mm×60 mm(幅／高さ／奥行き)</div>
質量： <div>約 38 g（専用USBケーブル含む）</div>
<div>同梱物</div>
<div>マイクロホン本体 (1)、マイクコード(1)、マイクホルダー(1)、テーブルスタンド(1)、USBオーディオボックス (1)、専用USBケーブル (1)</div> <div>取扱説明書(本紙) (1)、保証書 (1)</div>
<div>動作環境</div>
動作温度： <div>5℃ ～ 35℃</div>
対応パソコン： <div>IBM PC/AT互換機、Apple Inc.製Macintosh</div> <div>対応OS: Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 SP1 / Windows Vista SP2^{#1}</div> <div>Mac OS X(v10.6以降) (2017年1月現在)</div> <div>その他OSについてはこちらでご確認ください。</div> <div>http://www.sony.jp/support/av-acc/</div> <div>CPU::Pentium II 266 MHz以上</div> <div>USB端子装備^{#2}</div>

- 上記の動作環境において、すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 自作PCおよびOSの個人でのアップグレード、マルチブート環境での動作保証はいたしません。
- すべてのパソコンに対して、スタンバイ、スリープ、休止などの動作を保証するものではありません。

^{#1} Starterは除きます。

^{#2} 本機は、USB(USB2.0 Full Speed)に準拠しています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

取り扱い上のご注意

取り扱いについて

- USBオーディオボックスUAB-80はマイクロホンECM-PCV80U専用です。他のマイクロホンを接続すると、不具合や故障の原因となります。
- 専用USBケーブルや、マイクロホンのコードを強く引っ張らないでください。プラグを持って抜き差ししてください。
- マイクロホンは精密にできています。絶対に分解しないでください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 使用中にマイクロホンをスピーカー／ヘッドホンに近づけると、「ピー」という音が発生することがあります（ハウリング現象）。これは、スピーカー／ヘッドホンから出る音をマイクロホンが再び拾ってしまうために起こる現象です。その場合は、マイクロホンとスピーカー／ヘッドホンの距離をできるだけ離してください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外での使用時は、雨や海水にぬらさないようにご注意ください。
- 汚れるは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、マイクロホンに息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。
- マイクコードを強く引っ張ると断線の原因となります。プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

<div>万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。</div>

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

商標について

- Microsoft および Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime PlayerはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Pentiumは、Intel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

<div>ソニーの相談窓口のご案内</div>
<div>本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。</div> <div>ホームページで調べるには</div> <div>→AV 関連商品・アクセサリー カスタマーサポートへ(http://www.sony.co.jp/av-acc) <p>マイクロホンに関するよくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。</p></div>
<div>電話・FAX でのお問い合わせは</div> <div>→ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号) <ul style="list-style-type: none">お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。</div>
<div>セット本体に関するご質問時:</div> <div>－型名:ECM-PCV80U</div> <div>－ご相談内容:できるだけ詳しく</div> <div>－お買い上げ年月日</div>
<div>接続に関するご質問時</div> <div>質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前につながる範囲でご確認いただき、お知らせください。</div>
<div>よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。</div> <div>http://www.sony.co.jp/support</div>
<div>使い方</div> <div>相談窓口 フリーダイヤル……………0120-333-020</div> <div>携帯電話・PHS一部…IP電話:0466-31-2511</div>
<div>修理</div> <div>相談窓口 フリーダイヤル……………0120-222-330</div> <div>携帯電話・PHS一部…IP電話:0466-31-2531</div> <div><small>※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</small></div>
<div>FAX (本紙) 0120-333-389</div> <div>ソニー株式会社</div> <div>〒108-0075 東京都港区港南1-7-1</div>
<div>左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「308」＋「*」を押してください。直後、担当窓口へつながります。</div>